

(安心して住み続けるまちづくりモデルー 6)

お天気カメラ (阪神ケーブルエンジニアリング株式会社)

地域BWAについては、広告掲載ページを参照ください。

〔事業概要〕

防災を目的に、河川監視カメラの整備（web公開を含む）が進んでいる。しかし、河川の増水を確認してからでは手遅れの場合もあるため、河川上流の天気も確認することで、迅速な対応に備えることを目的にカメラを設置した。また、画像をwebで公開することで、住民へのプラスαの情報を発信できる。このカメラ映像情報のwebサーバへの伝送通信回線に、当社の地域BWA網を利用しています。



〔コラム〕

① サービスイメージやシステム構成

お天気カメラは、1箇所には2台（北向き・南向き）設置しており、ルータを介して地域BWA回線を利用し、静止画データを30秒おきに、当社のwebサーバにアップロードしている。また、神戸市の河川モニタリングカメラシステムのページと相互リンクを貼っています。

施工から画角調整、相互リンク完了・公開まで、数カ月の期間を経て、平成28年7月より運用開始しています。

② 事業展開による効果・成果

<自治体側の効果>

お天気カメラを導入でき、防災対策の一助となった。（1箇所目は無償）

<地域住民側の効果>



特集 3

各地域団体で取組まれている事例(新規掲載事例)の紹介

河川の画像に加え、上流の天気画像も閲覧でき、より多くの情報収集が可能となった。

＜当社の効果＞

地域BWA免許取得にあたり、本件が自治体連携のきっかけとなり、その後の地域BWAの多目的利活用へと広がっている。

③ 事業展開のポイント

独創性・先進性

平成20年7月28日、神戸市灘区の都賀川で、突発的、局所的な集中豪雨により、急激に水位が上昇し、河川敷にいた16人が流され、5人がなくなる事故が発生した（都賀川水難事故）。当時、河川モニタリングカメラは設置されていたが、水位上昇が起こってから、2分以内に1m以上の水位上昇が起こっており、自力での避難は非常に困難な状況であったと、事故後に報告されている。急激な水位上昇の原因は、上流での豪雨により、一気に流れ込んだと推測されている。そこで、迅速な対応を行うため、河川上流の天気も確認できるカメラを設置した。

継続性

横展開

・ 端末設置場所に制限がなく、場所変更や増設が容易である。

効果的なICT利活用

- ・ 工事費は電源引込とカメラ・ルータの設置のみで安価である。
- ・ 優先制御を設定することで、災害時にも確実に画像伝送できる。

住民等との連携・協力

波及効果

「事業展開による効果・成果」の内容と同じ

〔サービス利用者の声〕

〔今後の課題と展開〕

【お天気カメラ】

- ・ 大阪府大阪市：平成28年7月～運用中
- ・ 兵庫県芦屋市：平成29年1月～運用開始予定
- ・ 兵庫県神戸市：神戸市が主体で増設の検討
- ・ 大阪府茨木市：平成29年度 運用開始予定

【河川監視カメラ】

- ・大阪府豊中市：平成28年度末～運用開始予定

〔導入費・維持費〕**＜初期コスト＞**

- ・システム設計、ホームページ作成：1,700千円
- ・現地工事費（カメラ、ルータなど）：400千円

＜ランニング費用＞

- ・サーバ利用料：8千円／月

〔問い合わせ先〕

- ・団体 阪神ケーブルエンジニアリング株式会社

〒553-0001

大阪市福島区海老江1丁目1番24号 阪神星光ビル2階

- ・担当部署名：通信事業部 部長 松田 耕治

- ・電話番号／FAX番号：06-6343-7470／06-6343-7471

- ・e-mail：matsuda-k@hce.hanshin.co.jp

- ・その他の問合せ先：地域WiMAX推進協議会事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F 一般社団法人電波産業会内

TEL 03-5510-8595／FAX 03-3592-1103 URL（問合せ等）：<http://www.chiiki-wimax.jp>